

地域再生計画評価調書（地方創生推進交付金事業効果検証調書）【中間年評価】

地域再生計画の名称	魅力あるまちづくりから移住定住促進へ
-----------	--------------------

令和元年度評価

重要業績評価指標（KPI）の達成状況

評価指標		当初値	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度								達成度についての分析	
				2018年(H30)	実績	2019年(R1)	実績	2020年(R2)	実績	計		実数計
目標1	移住者数（増加分） 【人】	40	目標	30	70	60	130	70	200	160	400	移住者数については、近年移住志向が低調傾向にあり、平成30年度に比べて減少したものの、目標数値は上回っており、首都圏の町内出身者への情報発信や、お試し滞在住宅、中間管理住宅等の施策が一定効果を上げていると思われる。
			実績	137	177	74	144					
			達成度	457%	253%	123%	111%					
目標2	イベント入込客数（増加分） 【人】	48,000	目標	1,000	49,000	1,500	50,500	2,000	52,500	4,500	152,000	イベント入込客数については、前年度（H30）の87%に減少している。主な原因としては、桜マラソンが新型コロナウイルスの影響で中止になったことや、イベント当日の天候不良によるものと思われる。
			実績	2,087	50,087	-5,122	43,878					
			達成度	209%	102%	-341%	87%					
目標3	起業・創業者数（増加分） 【人】	5	目標	1	6	1	7	2	9	4	22	起業・創業者数については、8人が新たに起業しており、人材育成推進センターの実施しているビジネスプランコンテストをはじめ、各種講座の開催など、起業者の支援に繋がったものと思われる。
			実績	2	7	2	8					
			達成度	200%	117%	200%	114%					

評価年度において実施した事業

事業名	1 - (1) 情報発信事業	総合戦略における位置づけ	2 - 1 移住・定住の促進	事業費	8,124,800円
-----	----------------	--------------	----------------	-----	------------

事業概要	<p>四万十町出身者に対し、町の情報をリアルタイムで発信することにより、町の様々な取り組みを知っていただき、町出身者が故郷に帰りたと思う意識を醸成するとともに、町出身者のコミュニティを形成し、首都圏における四万十町ファンの拡大を図る。</p>
------	---

事業効果	<p>四万十町出身者の郷土愛の醸成及び四万十町ファンの拡大を目的として実施した「四万十町オフ会」を2回実施。定員各80名に対し、延べ178人の方からの申し込みがあり盛大に開催することができた。参加者の中には、これまで四万十町に帰町する機会の少なくなっていた出身者の参加も見受けられ、新たなコミュニティを構築することができた。そのほか、情報発信能力の高い首都圏のOLで結成した「四万十町応援女子部」の取り組みとして、四万十町現地ツアーを1回実施。Instagramで不特定多数の方に四万十町の魅力を伝えることができた。</p> <p>また、来場者数100万人のイベント「ドリーム夜さ来い祭り」にブース出展し、多くの方に四万十町をPRすることができた。</p>
------	--

事業名	1 - (2) 広報戦略策定及び情報共有促進事業 (シティプロモーション)	総合戦略における位置づけ	2 - 2 交流・関係人口の拡大	事業費	2,948,000円
-----	---------------------------------------	--------------	------------------	-----	------------

事業概要

四万十町の統一されたイメージを構築していくため、庁内に広報戦略プロジェクトチームを立ち上げ、検討会議やアイデア出しを重ねた。その議論を集約し、四万十町の統一されたブランドイメージを広めていくための「四万十町の広報のお約束」(広報戦略マニュアル)を策定した。また、SNSでの発信や、動画配信、テレビ放送などのPRにあたっては、「四万十町の広報のお約束」に基づき、専門家のアドバイスのもと、効果的・効率的な発信を行った。

事業効果

四万十町公式インスタグラム(写真投稿ツール)では、フォロワー数が年間で約4,000人増え、高知県内の市町村アカウントでは、フォロワー数1位となり、高知新聞でも取り上げられるなど注目を集めた。コメントなどで実際に四万十町を訪れたといった反応も得られ、イメージ向上及び観光振興などにもつながっている。

事業名	2 - (1) 観光振興事業	総合戦略における位置づけ	2 - 2 交流・関係人口の拡大	事業費	36,414,675円
-----	----------------	--------------	------------------	-----	-------------

事業概要

各団体の観光誘客イベント支援及び地域資源を生かした体験型観光の取組及び町内周遊企画を行い、町内への観光客の誘客に取り組んだ。

- ・ イベント事務支援臨時雇用
- ・ イベントシャトルバスの運行、イベント仮設トイレの設置、イベント会場周辺警備
- ・ イベントへの補助
- ・ トレイルレース、サイクリングイベントの実施
- ・ 町内業者が行う企画展示に合わせ、町内の飲食・宿泊施設が連携した周遊企画の実施

事業効果

町内の地域資源を活用したイベントやトレイルランニング等体験型のイベント、周遊企画を行うことにより、町への観光客の誘客を促進した。

主要なイベント入場者数	R1	(H30)
・ よってこい四万十	: 約 5,000人	(約 4,000人)
・ 窪川まつり	: 約 2,200人	(約 5,000人)
・ 米こめフェスタ	: 約 18,000人	(約 18,500人)
・ 四万十大正あゆまつり	: 約 1,800人	(約 2,500人)
・ 台地まつり	: 約 3,000人	(約 3,000人)
・ 奥四万十トレイルin松葉川	: 約 500人	(約 500人)
海洋堂ホビー館入込客数	: 33,697人	(27,320人)

事業名	3 - (1) 移住促進推進事業	総合戦略における 位置づけ	2 - 1 移住・定住の促進	事業費	6,958,685円
事業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の調査・空き家情報の発信 ・移住施設(お試し滞在住宅、中間管理住宅、移住支援住宅等)の管理運営 ・滞在型市民農園(クラインガルテン四万十)の管理運営 ・移住定住各種補助制度の整備 					
事業効果					
<p>情報発信事業の効果により、移住希望者が四万十町を移住先として選択してくれたことに伴い、管理する移住施設の稼働率は100%であった。また、本交付金を活用して移住施設の維持管理ができたことにより、快適な住環境を提供することができた。</p>					
事業名	4 - (1) 未来塾事業	総合戦略における 位置づけ	4 - 1 将来を担う人材の育成	事業費	44,333,107円
事業概要					
<p>「未来塾」では、魅力ある教育環境の充実のもと、地域に誇りと愛着を持ち主体的に行動できる次代を担う子どもたちの育成を目指している。特に、将来の地域課題を解決するためにも、存続要件が示された地元高校に特化した「四万十町高校応援大作戦」を展開し、地元高校を舞台に人材の育成と地方創生を進めている。</p> <p>地元高校の持続可能な魅力づくりは、地域の教育環境の充実や活性化にもつながるとともに、移住・定住を選択していただく上で大きな影響力となる。</p>					
事業効果					
<p>町営塾「じゆうく。」では、学びやすい環境づくりのもと4割を超える生徒が通塾し、個々の成績アップにつながっていることから、保護者から有用な学習場所であるとの評価もいただいている。また、高校魅力化コーディネーターの配置による学校内支援、海外研修事業や教育イベント開催などの学校外支援への理解も深まり、教育環境の魅力の一つとして認知されつつあるとともに、高校と町との関係性の構築も徐々に進んでいる。</p>					
事業名	4 - (2) 四万十塾事業	総合戦略における 位置づけ	4 - 1 将来を担う人材の育成	事業費	7,148,886円
事業概要					
<p>「四万十塾」では、地域の活性化や課題解決に向け挑戦する人材、自分ごととして地域で何かを取り組みたい方々に対し、必要な知識や技術の習得、交流機会等を創出し誰もが挑戦できる風土づくりを目指している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域イノベーター養成講座…マイプロジェクト発見から主体性や協働性を育む連続講座 ・四万十ビジネスプランコンテスト…町内での起業・創業を目指す人材の発掘・誘致 ・四万十トライセクター人材育成事業…地域や官・民を超え地域活性化への関心を深めるための講座開催 					

事業効果					
<p>地域イノベーター養成講座では、3年間の受講生が約30名になるなど、一定人気のある講座となっている。また修了者の中には、本講座で検討したプランを高知県及び本町のビジネスプランコンテストに応募し、高い評価（優秀賞・大賞）を得ている。</p> <p>四万十ビジネスプランコンテストにおいては、3年間で21プラン（応募数は45プラン）が最終審査会に臨み、うち6プランがプラン実現をし、5件が実施に向けて取り組みを進めており、一定の成果を上げている。</p> <p>令和元年度からの四万十トライセクター人材育成事業では、新たに町事業に参画する人材を増やす事を目的にして、町内事業者に委託した分も含め、219名の参加があるなど一定の効果を上げている。</p>					
事業名	4 - (3) 産業振興塾事業	総合戦略における 位置づけ	4 - 1 将来を担う人材の育成	事業費	971,210円
事業概要					
<p>「産業振興塾」では、中山間地域の暮らしや産業を守り次世代へと引き継いでいくため、基幹産業の振興や経営安定、地場企業のさらなる成長に向けて、四万十町の産業を支え発展させる人材の育成を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者ネットワーク 若い農業者（新規就農者等）を対象に、仲間づくりと産業振興の仕組みづくりを主体的に学び実践する場を提供。 ・ 町内事業者人材育成支援事業 経営者層や若手社員を対象として、社内コミュニケーションや社員教育の重要性を啓蒙する研修会等を開催するとともに、中核人材の育成、確保に向けた取組みを支援している。 					
事業効果					
<p>農業者ネットワークでは、組織の拡充と会員相互の交流、農業経営に関する意識啓発が図られるとともに、産直トライアルや展示会出展、高知大学によるショウガ圃場の土壌研究など、各部会で取り組む活動も具体化している。</p> <p>町内事業者人材育成支援事業では、セミナー終了後の参加者アンケートや個別ヒアリング等を通じて、事業所が抱える問題意識や課題等を把握することができた。また、今年度から県移住促進・人材確保センターの求人支援コーディネーターの参画も得ている。</p>					

総事業費	106,899,363円	うち国庫補助金	50,030,178円
------	--------------	---------	-------------